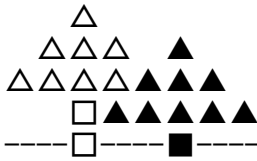


2018/6/12

林業試験場メールマガジン



『北の森の達人』

Vol. 54 第54号

読者の皆様へ

いつも林業試験場メールマガジン『北の森の達人』をお読みいただき、ありがとうございます。

■「光珠内季報」の187号を発行しました。

今回の「光珠内季報」は、「平成30年 北海道森づくり研究成果発表会」の特集となっています。

今年、行政機関や民間企業等の一般発表を5課題（口頭4、ポスター1）、森林研究本部の研究成果として、林業試験場と林産試験場の課題をテーマごと（①針葉樹人工林の循環利用を進める研究/②トドマツ人工林における環境に配慮した森林施業に関する研究/③広葉樹資源の把握と用途拡大に向けた研究/④森林資源の利活用と管理に関する研究）にまとめた口頭発表を11課題、ポスター発表は両試験場併せて19課題（共同発表を含む）の発表を行いました。

本号では、当日の発表のうち、林業試験場（共同発表を含む）の口頭・ポスター発表全15課題について特集しますので、ご一読ください。

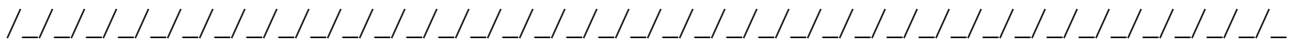
季報はWEB版のみの発行となりますので、当場のホームページ（http://www.hro.or.jp/list/forest/research/fri/about/kanko.htm）よりご覧いただきますようお願いいたします。

また、北海道林業試験場研究報告第55号並びにグリーントピックス56号も3月末に発刊していますので、是非ご一読をお願いいたします。

■刊行物ダイジェスト

光珠内季報第187号（2018.6発行）

1	林業試験場が平成30年度に取り組む試験研究のあらまし	1頁
2	平成30年 北海道森づくり研究成果発表会について	9
	・保残伐の導入は水土保持機能への影響を緩和できるか？	10
	・保残伐の導入は木材生産と収益性に影響するのか？	11
	・保残伐の導入は溪流生態系への影響を緩和できるか？	12
	・保残伐の導入はどのような場所が対象になりうるか？	13
	・アカエゾマツ間伐シミュレーションソフトウェア及び改訂版 アカエゾマツ人工林施業の手引の紹介	14
	・立木の太さから見た広葉樹資源の特徴	15
	・完成しました!! 樹木内部欠陥非破壊診断装置	16
	・カラマツヤツバキクイムシ被害拡大抑制技術の開発	17
	・北海道網走湖産ヤマトシジミにおける陸上植物由来の 餌の起源推定	18
	・海岸林の津波抵抗性と施業の関係	19
	・エゾシカを効率よく捕獲するために ～誘引餌の選定と給餌期間の検討～	20
	・表土埋戻しおよび施肥がミズナラ苗の植栽当年の成長に及ぼす影響	21
	・石炭露天掘り跡地の緑化樹木の成長	22
	・コンテナを用いたクリーンラーチ挿し木苗幼苗の生産技術の開発	23
	・労働強度軽減に向けたコンテナ苗植栽システムの開発 ～林内運搬機とオーガを用いた植栽システムの工期と労働強度～	24



■「夏休みグリーンフェスティバル2018」を開催します

林業試験場では、夏休み中の小学生などを対象として、森林やみどりに親しんでもらうため、今年もグリーンフェスティバルを開催します。

木の葉や枝を使っていろいろなグッズを作ったり、葉っぱから抽出した香りのついた水でオリジナルの香水を作ったり、その他にも楽しい催し物を予定しています。

皆様の来場をお待ちしています。

「夏休みグリーンフェスティバル2018」

- ・日時 2018年7月28日(土) 10:00~15:00
- ・会場 林業試験場(美唄市光珠内町東山)
- ・参加料 無料
- ・問い合わせ 森林研究本部企画調整部普及グループまで
T e l 0 1 2 6 - 6 3 - 4 1 6 4



林業試験場メールマガジン『北の森の達人』は、北海道の森林・林業・身近なみどりに関わる情報を皆様に直接お届けするメールマガジンです。

■発行・編集

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 森林研究本部林業試験場
〒079-0198 北海道美唄市光珠内町東山

■問い合わせ

企画調整部普及グループ
電子メール forestry-mmg@hro.or.jp

■記事の取り扱い

林業試験場メールマガジンに掲載された記事を転載することはご遠慮ください。

